

「ワークシート③ 通学路上の避難マップを作成する」

学習のねらい：自宅や通学経路からの避難場所と避難ルート、避難中の危険地点を、実際に地図を描いて覚える。

（活用例）

- ・防災訓練などの際に、学習の一環として取り組ませる。
- ・家に持ち帰り、家族で話し合っけて記入する（家族への周知も図る）。

（指導上のポイント）

◆本冊「3外出中に大地震が起こったら」で、危険な箇所や危険回避方法について復習させたうえで、生徒に記入させる。

各地域の避難場所を家庭や市町防災担当部署などで確認するよう指導する。

また、地域によっては、地震と風水害で避難場所が異なる場合があることも指導する。

※参照：県防災対策部 HP
「避難所・防災マップ」

http://www.bosaimie.jp/resource/1495426761000/X_MIE_ne000

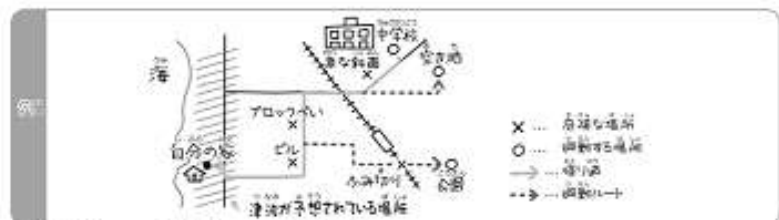
防災ノート(ワークシート③) 中学生版



通学路上の避難マップを作成する

あなたの通学路の地図を描きましょう。危険な場所には×をして、何が危険かを書きましょう。また、避難する場所に○をして、そこまでの道を描きましょう。

※下記例を参考に記載させる。



- ※地震避難マップと台風避難マップは違う場合があります。
- ※避難ルートは複数考えておきましょう。雨の日や夜間に避難する場合も想定ください。
- ※津波が想定されている地域では、少しでも早く海岸から逃げる避難ルートを考えましょう。
- ※災害が起こったとき、皆さんが率先して避難することで他の人の避難を促すことができます。

◆避難経路について、家族で話し合い感想を書きましょう。

例) 避難場所までに多くの危険箇所があることが分かった。